

令和2年白浜町議会第4回定例会 会議録(第5号)

1. 開 会 令和2年12月16日 白浜町議会第4回定例会を白浜町役場
議場において10時00分開会した。

1. 開 議 令和2年12月16日 10時00分

1. 閉 議 令和2年12月16日 11時15分

1. 閉 会 令和2年12月16日 11時15分

1. 議員定数 14名

1. 応招及び不応招議員の氏名
第1日目のとおり

1. 出席及び欠席議員の氏名

出席議員 14名 その議席番号及び氏名は、次のとおりである。

1番	堀	匠	2番	楠	本	隆	典		
3番	廣	畑	敏	雄	4番	西	尾	智	朗
5番	正	木	秀	男	6番	南	勝	弥	
7番	小	森	一	典	8番	丸	本	安	高
9番	辻	成	紀	10番	松	田	剛	治	
11番	溝	口	耕	太郎	12番	長	野	莊	一
13番	堅	田	府	利	14番	水	上	久	美子

欠席議員 なし

1. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名は、次のとおりである。

事務局 長 濱 口 伊佐夫 事務 主 査 坂 本 十志也

1. 地方自治法第121条の規定により、議場に出席した者の職氏名は、次のとおりである。

町 長	井	潤	誠	副 町 長	林	一	勝		
教 育 長	豊	田	昭	裕					
富田事務所長									
兼農林水産課長	古	守	繁	行	日置川事務所長	石	田	健	
総務課長	愛	須	康	徳	税 務 課 長	岩	城	祐	朗

民生課長	中本敏也	住民保健課長	泉芳明
生活環境課長	廣畑康雄	観光課長	寺脇孝男
建設課長	玉置康仁	上下水道課長	久保道典
会計管理者	玉置孔一	消防長	大谷哲也
教育委員会			
教育次長	榎本崇広	総務課副課長	山口和哉

1. 議事日程

- | | | |
|-------|---------|--|
| 日程第1 | 報告第11号 | 第52期南白浜温泉株式会社経営状況の提出について |
| 日程第2 | 議案第126号 | 令和2年度白浜町一般会計補正予算（第9号）議定について |
| 日程第3 | 議案第77号 | 令和元年度白浜町一般会計歳入歳出決算認定について
(委員会審査報告) |
| 日程第4 | 議案第78号 | 令和元年度白浜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
(委員会審査報告) |
| 日程第5 | 議案第79号 | 令和元年度白浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
(委員会審査報告) |
| 日程第6 | 議案第80号 | 令和元年度白浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
(委員会審査報告) |
| 日程第7 | 議案第81号 | 令和元年度白浜町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について
(委員会審査報告) |
| 日程第8 | 議案第82号 | 令和元年度白浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
(委員会審査報告) |
| 日程第9 | 議案第83号 | 令和元年度白浜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
(委員会審査報告) |
| 日程第10 | 議案第84号 | 令和元年度白浜町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
(委員会審査報告) |
| 日程第11 | 議案第85号 | 令和元年度白浜町水道事業特別会計決算認定について
(委員会審査報告) |
| 日程第12 | 発委第12号 | 閉会中の継続調査申出書（議会運営委員会・総務文教厚生常任委員会・観光建設農林常任委員会・議会広報特別委員会） |
| 日程第13 | 発委第13号 | 閉会中の継続審査申出書（議員定数等検討特別委員会） |

1. 会議に付した事件

日程第1から日程第13

1. 会議の経過

○議 長

皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員は14名です。地方自治法第113条の規定に基づき、定足数に達しておりますので、ただいまから白浜町議会令和2年第4回定例会5日目を開会します。

日程に入る前に事務局長から諸報告を行います。

番外 事務局長 濱口君

○番外（事務局長）

諸報告を行います。

本日の議事日程については、お手元に配布しています。

また、決算審査特別委員会審査報告書をお手元に配布しております。

本日、休憩中に議会運営委員会の開催をよろしくお願いたします。

本日、閉会後に議員懇談会、議員定数等検討特別委員会、議会広報特別委員会の開催をお願いします。

以上で諸報告を終わります。

○議 長

諸報告が終わりました。

ご了承のほどよろしくお願いたします。

これより本日の会議を開きます。

(1) 日程第1 報告第11号 第52期南白浜温泉株式会社経営状況の提出について

○議 長

日程第1 報告第11号 第52期南白浜温泉株式会社経営状況の提出についてを議題とします。

本案に対する質疑を行います。

5番 正木君

○5番

今回の報告において、さほどプラスもマイナスもない報告になっていると思います。ゴルフ場へ上がっていく信号の角から左側のゾーンは新築家屋が増えたように思うのですが、そこらの給湯要請、会社としてかけているのかどうか。

それと、前任の責任者はどのくらいの年数おられて、退職金などの手当を出したか出していないのか、いかがですか。

○議 長

番外 観光課長 寺脇君

○番外（観光課長）

個人の家にはあまり要請をかけていないと聞いています。ただ、今のところホテルなどの大規模な施設がございませんので、今回第52期を見ていただくと解約も新規契約もゼロということになってございます。

次に、前任者の関係ですけれども、平成23年10月から令和2年3月31日まで8年6カ月勤めていただいております。また、退職金につきましては、決算書6ページをご覧いた

だきますと、退職金として239万7,800円を支出してございます。

○議 長

5番 正木君

○5 番

前段質問した中で、休業されていた保養所ないし家屋が多々あったんですけれども、そこがリニューアルしたり転売されたりしてオープンされているところが結構あるんです。そこらを含めて、いったん給配湯が滞っていた部分記憶するんですけども、そこら含めて、これからコロナにおいて、減収していく時代ですけれども、なるべく再開されてペンションなり宿泊施設にリノベーションされたところを極力キャッチして営業するのもひとつの方法と思います。閉めたら閉めたまま置いているのが旧町でもあるので、そういうところ早くキャッチして、エスコートするというのも業務として大事だと思いますので、課長、そういうところ努力していただきたいなと思います。

○議 長

番外 観光課長 寺脇君

○番 外（観光課長）

現在給湯の件数につきましては、法人が8件、個人が27件の計35件ございます。正木議員からご指摘がございましたように、周りに新しくオープンされたホテル、旅館の施設がございましたら、できるだけアンテナを張りまして、営業をかけてまいりたいと考えございます。このことについても、会社とも十分協議をさせていただきますので、よろしくお願いたします。

○議 長

2番 楠本君

○2 番

1ページの下段になるんですけれども、白浜の温泉はスケールがかなり付くということで、配管の修理が今後必要になってくると思うんです。そこらの点について、年次計画を考えているのかどうかお聞きしたいと思います。

○議 長

番外 観光課長 寺脇君

○番 外（観光課長）

修繕につきましては、配湯先からお湯の出が悪いとかそういうお話があったとき、配管について調査を行いまして必要であれば修繕を行っている状況でございまして、どの個所を何年に修繕するとかそこまでは計画的にできていない状況であります。

○議 長

2番 楠本君

○2 番

やはりプラントを整理した上で、埋設管と露出管とか管理していかんらん問題だと思いますので、今後の課題として取り組んでいただきたいと思います。

○議 長

ほかにございますか。

(なしの声あり)

○議 長

質疑を閉じることにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

質疑を終結します。

報告第11号は以上です。

(2) 日程第2 議案第126号 令和2年度白浜町一般会計補正予算(第9号)議定について

○議 長

日程第2 議案第126号 令和2年度白浜町一般会計補正予算(第9号)議定についてを議題とします。

本案に対する質疑を行います。

6番 南君

○6 番

12月1日だったと思うんですけども、前回説明を受けたときに、消防署の横の予定地、切土をしない現在の高さの土地に平屋の家を建てるのは高さ制限で無理と聞いたんですけども、その後、県の関係者に問い合わせたところ、あそこは現状の高さのまま、上5メートルくらいだったら余裕があると聞いたんですけども、どちらが本当なんでしょうか。

○議 長

番外 民生課長 中本君

○番外(民生課長)

旧空港の上のほう、切り取りを行わずに平屋を建てることに関しましては、数値的なことで、厳密に言いますと可能であります。ただ、空港事務所から高さ制限、少なくとも1メートルは規制より低いのが望ましいとか、例えば、建物よりアンテナなどの設備を考えられますので、少しでも高さに余裕を持たせておく必要があると考えております。

○議 長

6番 南君

○6 番

5メートル以下ということだったら該当するわけですよね、アンテナも下にするとか。前回は無理だと聞いたんですけど、可能は可能ですね。平屋でも設計的に難しいですか、どちらですか。

○議 長

番外 建設課長 玉置君

○番外(建設課長)

私、全員協議会には出席させていただいてないのですが、先ほどの民生課長と重複するかもわかりませんが、ご理解をお願いします。

まず、高さ制限につきましては、南紀白浜空港の航空法に定められたものがございまして、新空港の滑走路から7分の1勾配で上がってきた線を指します。今回の候補地となりますと

ここで言いますと、今の造成をしない段階の高さが、標高で言いますと滑走路で約105、そして切土を行うとしているところで約106の高さがございます。それで、高さ制限を引っ張ってきたら、113の高さが制限の高さということで、この間で言いますと、7メートル程度の余裕はあるんです。そして、平屋建てということになりますと、屋根のてっぺんが5メートルくらいとなりますと、建つことは可能でございます。

ただ、平屋建てにするということは総2階ですとの平屋建てにするのと何が違うかと言いますと、単純な話、2階が平屋になった場合に、基礎が倍になるとか、屋根が倍になるとかということもございまして、高さあるところで言いますと、進入路の問題も出てきます。進入路も今の道から6メートル上がったところへ進入路を付けてまいりますと、道路勾配が8%とした場合でも、手前から七十何メートル手前から道を付けていかなければならないとか、総合的な判断のなかから、今の造成工事を行って、最小限の面積で施工していくことを選択させていただきましたので、ご理解のほどよろしく申し上げます。

○議 長

6番 南君

○6 番

と言いますのも、土地の造成費、設計費も含めて4,000万円近く要りますので、多額のお金なので、これが最良と言われれば仕方ないのですが、再考は難しいということですか。現在の高さに建てるのは難しいと、切土が最良の方法ということですか。

○議 長

番外 建設課長 玉置君

○番 外（建設課長）

その辺も、私もなぎさホームを断念し、新候補地を選択するとの間、建設課としても協議に入らせていただいて、いろんな候補地を選択してまいりました。南議員おっしゃるような造成なしの場合、高さ制限が離れるほど緩くなるのでその奥はどうかとかいろんな想定を議論いたしました。

そのなかで、小さなお子さんや女性の多い保育士さんでもありますので、防犯面、治安を考えますと、少しでも人通りのあるところ、安全性や送り迎えを考えますと、交通の利便性そして、なによりも一日でも早く建設していかなければならないということから、用地等の交渉事がないようなところという選択のなかで、今のところに候補地として案を出させていただいた形です。

平屋建てということも検討したなかで、先ほど申しましたように、造成工事が高いのか、進入路工事、基礎工事、屋根工事、建築に伴った費用が高いのか、その辺も試算をしてまいりました。そこで、やはり進入路とか70メートルほど工事をしていくとなれば、道路についての工事費が出てきます。そういったことから、今の道路高さまでめいっぱい下げるかどうかは当然運転ミスとかで歩道を乗り越えてきた場合とかも考えたら、少しは上げたようなバウンドをつくって、そこで車が止まるようなことも考えていかなければならないと思いますので、その辺は今回提案させていただいています測量設計、その辺も考慮しながら、事業費が少しでも安く済む形を取っていきたいと考えています。

○議 長

6番 南君

○6 番

平成29年3月作成ですけれども、公共施設等総合管理計画、総務省から通達があって、白浜町も計画を立てて、私も見たんですけども、そのなかに、保育園に限らずいろんな施設、更新にあたって適正規模や財政的なこといろんなことを考えた上で、町の計画をするとなっていますけれども、そのなかで、子育て支援施設についてその文を読んでみます。施設の更新にあたっては、利用者数に応じた施設規模の適正化を図るなど施設のあり方について検討を行う必要があります。こういう計画があるので、今回湯崎単独での移転ですので、こういうことも検討した上での計画でしょうか。私は一般質問で触れたのですが、いわゆる集約を検討した上、改めてこの点、湯崎単独しか考えていないのか、その点についてお聞きいたします。

○議 長

番外 町長 井潤君

○番 外(町 長)

町としましては、当然、単独でいくのか、今後将来的な人口減少、あるいは少子化を含めて統合ということもあるのかと考えておりました。現在も考えておりますし、当然集約化も視野に入れて、現在まで議論をしてきたところでございます。

この消防本部横の町有地に関しましては、建設課長、民生課長からも答弁申し上げましたように、消防本部と並んで配置することによりまして、保育園の機能としては、先ほど申し上げたように、防災面、送迎面での機能アップができます。そしてまた、旧空港のエリアを確保しながら、消防、保育園の公共施設を将来的に集約することは可能ということがありますので、旧なぎさホーム跡地ですと、1,400平米と非常に手狭ですし、少しいびつな形でございますので、なかなか園児を増やすということは難しいということがございます。

そのなかで、今回はもう少し広いところでできれば町有地ということは頭にありましたので、町有地のなかではここが最有力候補ということで決定をさせていただいた経緯がございます。

○議 長

6番 南君

○6 番

これは計画を立ててからもう3年以上経っていますよね。第一候補としてなぎさホームの跡地に行くということは、結局何も考えずに単独であそこだけと将来のことを考えてなかったと思います。急に旧空港のところにして、将来のことを考えている上というのはちょっと納得できないのですが、初めからあそこで総合的に白浜地区の幼稚園としてひとつにするというならわかるのですが、経過から考えたら、なぎさホームがあかんから、単純にあそこが町有地で移ったと思えて仕方ないんですけど、その点どうですか。

○議 長

番外 町長 井潤君

○番 外(町 長)

当初は、私どもの頭の中に、まずは新しい園舎を一日でも早く建てたいということがございました。現施設につきましては、耐震もなかなかできていませんし、これを解消して改修することよりも、新しいところで新築することが望ましいという結論になりました。そのと

きは候補地を探すなかで、当然いくつか候補地はあると思いますけれども、旧なぎさホーム跡地が一番いいだろうということで、地元町内会からも要望がありましたので、ひとつの大きな柱として検討してきたわけです。

しかしながら、議論をする中で、あるいは地元調整するなかで、いろんなご意見をいただき、そのなかで、最終的、総合的に判断したときに、旧なぎさホーム跡地よりももう少し別の形で考えたときには、先ほど申し上げたように、少しでも広いところ、そしてまた利便性の問題、保護者の方、園長以下先生方にもご協力、ご理解いただくなかで、最終的な候補地として、消防横の町有地が最有力候補として浮上したということでございます。いろんな経緯はございます。しかしながら、総合的にここでよかったと思っていただけた候補地を絞り込んだということでもありますので、ご理解をいただきたいと思います。

○議 長

11番 溝口君

○11 番

1点確認をさせていただきたいと思います。旧空港は、県有地と町有地で、町は3.5割ほどですか。今回県は何も言わないと思うのですが、先般地方紙に旧空港の将来的な活性化、県は将来的に活性化を考えていかなあかんという、今回県から全体的なプランのなかで、ここらまでだったらいいとか県と話はあるんですか。

○議 長

番外 副町長 林君

○番 外（副町長）

溝口議員のおっしゃるように、先般の県議会で、旧空港跡地の活用については、白浜町という観光の町でございますので、観光を主にして施策をお願いしていきたいと知事は答弁をされておりました。

今、おっしゃっておられます旧空港跡地は今回計画しております湯崎保育園とは別です。下ですから、まったく町有地であると解釈いただきたいと思います。上につきましては、防災拠点であるとか観光施設をつくるとかそういうことについて県とも相談しながら、進んでいけたらと考えてございます。

○議 長

ほかにございますか。

（なしの声あり）

○議 長

質疑を閉じることにご異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○議 長

質疑を終結します。討論を行います。

（なしの声あり）

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

議案第126号は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第126号は原案のとおり可決されました。

休憩します。

(休憩 10時18分 再開 11時03分)

○議 長

再開します。

-
- (3) 日程第3 議案第77号 令和元年度白浜町一般会計歳入歳出決算認定について
(委員会審査報告)
- 日程第4 議案第78号 令和元年度白浜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
(委員会審査報告)
- 日程第5 議案第79号 令和元年度白浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
(委員会審査報告)
- 日程第6 議案第80号 令和元年度白浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
(委員会審査報告)
- 日程第7 議案第81号 令和元年度白浜町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について
(委員会審査報告)
- 日程第8 議案第82号 令和元年度白浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
(委員会審査報告)
- 日程第9 議案第83号 令和元年度白浜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
(委員会審査報告)
- 日程第10 議案第84号 令和元年度白浜町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
(委員会審査報告)
- 日程第11 議案第85号 令和元年度白浜町水道事業特別会計決算認定について
(委員会審査報告)

○議 長

日程第3 議案第77号 令和元年度白浜町一般会計歳入歳出決算認定についてから日程第11 議案第85号 令和元年度白浜町水道事業特別会計決算認定についてまでの9件を一括議題とします。

事務局長から案件の朗読をさせます。

番外 事務局長 濱口君

○番 外(事務局長)

委員会審査報告書を朗読した。

○議 長

本案に関する委員長報告を求めます。

3番 決算審査特別委員長 廣畑君(登壇)

○6 番

ただいま議題となりました決算審査特別委員会における令和元年度決算認定につきまして、

その審査の結果についてご報告いたします。

本委員会に付託されました案件は、令和元年度白浜町 一般会計ほか8件の特別会計の決算認定であり、令和2年9月1日開会の第3回白浜町議会定例会において本委員会に付託され、10月1日から10月6日までうち、4日間委員会を開催し、決算書、各種参考資料、関係当局から説明を受け、適切な予算執行が効率的に行われたか審査をしたところでございます。

その結果であります。令和元年度一般会計及び特別会計決算認定につきましては、報告書に記載のとおり大所高所から議論したところでありますが、すべて意見をつけ認定すべきものと決定しました。

執行部におかれましては、当委員会でお出された意見を真摯に受け止め、次年度予算の編成、執行に生かされるよう、また、今後とも、町民福祉の向上や高い行政サービスの提供に努め、施策・事業の計画的推進、重点化及び効果的な財源配分に努めていただきたいと思いますところでございます。

以上をもって、委員会審査報告とさせていただきます。

皆様方のご承認を賜りますようお願い申し上げます

○議 長

委員長報告が終わりました。

委員長報告に対する質疑を行います。

(なしの声あり)

○議 長

質疑を閉じることに異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

質疑を終結します。

議案ごとに討論、採決を行います。

議案第77号 令和元年度白浜町一般会計歳入歳出決算認定について討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は意見を付して認定すべきものです。

議案第77号は委員長報告のとおり決することに異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第77号は委員長報告のとおり意見を付して認定されました。

議案第78号 令和元年度白浜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は意見を付して認定すべきものです。

議案第78号は委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第78号は委員長報告のとおり意見を付して認定されました。

議案第79号 令和元年度白浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は意見を付け認定すべきものです。

議案第79号は委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第79号は委員長報告のとおり意見を付して認定されました。

議案第80号 令和元年度白浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は意見を付け認定すべきものです。

議案第80号は委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第80号は委員長報告のとおり意見を付して認定されました。

議案第81号 令和元年度白浜町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は意見を付け認定すべきものです。

議案第81号は委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第81号は委員長報告のとおり意見を付して認定されました。

議案第82号 令和元年度白浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について討論を

行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は意見を付け認定すべきものです。

議案第82号は委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第82号は委員長報告のとおり意見を付して認定されました。

議案第83号 令和元年度白浜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は意見を付け認定すべきものです。

議案第83号は委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第83号は委員長報告のとおり意見を付して認定されました。

議案第84号 令和元年度白浜町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は意見を付け認定すべきものです。

議案第84号は委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第84号は委員長報告のとおり意見を付して認定されました。

議案第85号 令和元年度白浜町水道事業特別会計決算認定について討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は意見を付け認定すべきものです。

議案第85号は委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第85号は委員長報告のとおり意見を付して認定されました。

(4) 日程第12 発委第12号 閉会中の継続調査申出書 (議会運営委員会・総務文教厚生常任委員会・
観光建設農林常任委員会・議会広報特別委員会)

日程第13 発委第13号 閉会中の継続審査申出書 (議員定数等検討特別委員会)

○議 長

日程第12 発委第12号 閉会中の継続調査申出書、日程第13 発委第13号 閉会中の継続審査申出書を一括議題とします。

各委員長の申し出のとおり、それぞれの委員会において閉会中も調査または審査を継続することに異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、各委員長から申し出のとおり、それぞれの委員会において閉会中も調査または審査を継続することに決定しました。

これをもって令和2年第4回定例会に付議された事件はすべて終了いたしました。

閉会にあたり町長から挨拶の申し出があります。

これを許可します。

番外 町長 井潤君 (登壇)

○番 外 (町 長)

閉会にあたりまして、ひと言ご挨拶を申し上げます。

12月1日に、本定例会を招集させていただき、本日まで、議員各位には提案いたしました案件をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策、防災対策、産業振興施策、子育て施策、福祉施策、教育行政等、町政全般にわたり、鋭意ご審議をいただき、誠にありがとうございました。

湯崎保育園園舎建設事業に関しましては、改めて、当初の計画が変更となりましたことにつきまして、町民の皆様方、議員の皆様方に心よりお詫び申し上げる次第でございます。

本日ご承認いただきました新たな予定地への湯崎保育園園舎建設事業の実施にあたりましては、議員各位よりいただきましたご意見等を十分に生かし、全力で取り組んで参りますので引き続きご指導賜りますよう何卒お願い申し上げます。

最後に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大には予断を許さない状況でございますが、対策につきましては、国、県や保健所、近隣市町、町内関係団体等との情報共有を図るとともに、引き続き、感染予防施策及び緊急経済対策事業に取り組んで参ります。

本年も残すところあとわずかですが、議員各位のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

○議 長

挨拶が終わりました。

これをもって、白浜町議会令和2年第4回定例会を閉会いたします。
大変、ご苦労さまでした。

議長 西尾 智朗は、 11 時 15 分 閉会を宣した。

地方自治法第123条第2項の規定により下記に署名する。

令和 2 年 1 2 月 1 6 日

白浜町議会議長

白浜町議会議員

白浜町議会議員